

各ワクチンの副反応報告件数

ワクチンの種類	A+C		B+D		A企業からの報告		B企業報告のうち医師が重篤と判断したもの※2		C医療機関からの報告		D医療機関報告のうち医師が重篤としたもの		接種回数※3
	件数	発生率※1	件数	発生率	件数	発生率	件数	発生率	件数	発生率	件数	発生率	
子宮頸がん予防ワクチン(2剤合計)	2,475	278.1	617	69.3	921	103.5	340	38.2	1,554	174.6	277	31.1	8,898,150
サーバリックス 【平成21年12月発売～平成26年3月31日】※4	2,022	288.8	483	69.0	813	116.1	272	38.8	1,209	172.7	211	30.1	7,001,592
ガーダシル 【平成23年8月発売～平成26年3月31日】※4	453	238.9	134	70.7	108	56.9	68	35.9	345	181.9	66	34.8	1,896,558

※1 発生率は100万接種あたりの発生数

※2 副反応報告制度は、予防接種との因果関係の有無に関わらず、接種後に健康状況の変化をきたした症例を収集したもの

※3 接種回数については、製造販売業者の出荷量からの推計

※4 データは平成25年12月25日開催の合同会議時点から更新